



第84号
 ■発行者■ 退職校長会 相馬支部 支部長 高野 敦夫
 ■印刷者■ (有)ライト印刷

挨拶と 今思うこと

支部長 高野 敦夫



平成二十三年三月十一日、午後二時四十六分に起きた大地震とその後発災した原発事故。現職中だった私は、その後、子どもたちの安全と転出先・区域外就学先の確認、避難所となった体育館での地域住民のお世話に追われました。何とかしなければの思いだけでした。

今般、あの時と同じようなことが起きました。コロナ感染の影響で開催が危ぶまれた中で開かれた四月の総会で、思ってもみない相馬支部長を仰せつかりました。本会の目的の遂行のためにはしっかりと運営が出来るていくのかとても不安を感じ

地区の役員の方々と力を合わせ、本会の二つの目的である各活動を通した「会員相互の親睦と健康増進を図ること」と、会報発行による「生きがいのある生活の推進」の運営のために、微力ながら務めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて今、教育界は教員の定数配置ができないほどの教員不足や教員を指そうとする若者が減る等、大きな課題に直面しています。社会の変化に合わせて教育内容が多岐にわたり、事務的なものも増えています。そのことは、教員本来の業

務である授業の充実のための時間がない等、多数の業務をしなければならぬ労働環境に問題があるのではないかと報道でも伝えています。私達退職校長会も、全教職員の労働環境と働き方に心を寄せていきたいと思えます。

また、少子化等で学校統合が進み、校長の数にも影響が及んでいます。中島みゆきさんの歌「糸」の中に、(縦の糸と横の糸で)織

りなす布はいつか誰かを暖めうるかもしれない」という歌詞があります。再任用等を含む現職の方も現職中は校長会の縦糸と横糸になり校長会の縦糸と横糸になります。校長職を経験した者同士のつながりを、永く大切にしていきたいものです。

最後に、会員の皆様の温かなご指導とご支援を重ねてお願い申し上げ挨拶いたします。

稿 「相双教育アピール」の実現に向けて

福島県教育庁相双教育事務所長 武口 隆行



相双教育事務所では、県重点施策をもとに「相双教育アピール」を策定し、学校教育・社会教育、それぞれ重点事項を設定して取り組んでいます。

学校教育課では、各種施策や事業、要請訪問を進めるとともに、域内の幼稚

園・認定こども園、小・中義務教育学校、高等学校、特別支援学校の一貫した教育の展開を図るため、「新しい学びのかたちを相双から」をスローガンに掲げました。令和の日本型学校教育の構築に向けて、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践を域内から広く発信していきたいと考えております。

す。学校の主役は「子どもたち」です。学校教育の目指すべき姿を先生方と共有し、子どもが主語の学びが定着するよう取り組んで行きます。

社会教育課では、「未来の担い手をはぐくむ教育を相双から」をスローガンに掲げ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて地域学校協働活動の充実に取り組んでいます。そこでどうしても必要になってくるものがマンパワーです。震災以降減少を続ける相双地区の子どもたちを導いてくれるのは先輩方の力です。先日も退職公務員連盟の皆様が学習ボランティアとして登録してくださいました。退職校長会の皆様には「十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」で審査員としてお世話になります。引き続き、地域の公民館であり、博物館であり、図書館である皆様のお力を地域と共にある学校のためにつないでいけたら幸いです。

今後、学校・家庭・地域・行政が一体となり、相双の未来を担う子どもたちの育成を目指してまいります。諸先輩方の応援よろしくお願いいたします。

総会報告及び事業報告

第五十九回福島県公立学校退職校長会相馬支部総会は、去る四月十九日に相馬市民会館にて行われました。新型コロナウイルスの分類が5類移行前でしたので、懇親会なしの総会のみ開催でした。

冒頭、この一年間の物故会員の皆様に黙祷を捧げた後、山下富夫支部長の挨拶がありました。その中で、教員の定年退職年齢が六十一歳に引き上げられることから、今年度末の校長定年退職者はゼロとの現実的な話が印象的でした。次に七名の新入会員が紹介され、参加された伏見伸一郎様が代表して挨拶をされました。議長に相馬地区の堀川幸

令和5年度 福島県立公立学校退職校長会 相馬支部役員

相馬支部役員		
支部長	高野 敦夫	
副支部長	島 義一	渡辺 金作
監事	吉田 雄二	佐藤 博
幹事	井上 恭一	伏見 康弘

理事		
新地	加藤 潤一	
相馬	堀川 幸一	林 宗一郎
	吉内 次夫	午来 勝顕
鹿島	星 和彦	大谷 一裕
原町	佐藤 光正	玉川 雄一
	山邊 彰一	杉内 律子
小高	金谷 哲	梅田 善幸

地区役員				
地区	会長	副会長	事務局	会員数
新地	菅野 耕平	目黒 壽一	吉田 雄二	7
相馬	太田 孝泰	堀川 幸一	吉内 次夫 佐藤 博	62
鹿島	遠藤 秀通	星 和彦	大谷 一裕 阿部 テル子	18
原町	草野 正徳	清信 悦孝	山邊 彰一 杉内 律子	73
小高	佐藤 雅夫	渡辺 金作	金谷 哲 梅田 善幸	21

同様を選出し、議事に入りました。令和四年度会務報告、会計決算・特別会計決算報告が原案どおり承認され、引き続き提案された令和五年度の努力事項・事業計画、会計予算も原案どおり承認されました。詳細については、会員の皆様にお届けした総会要項のとおりです。

次に役員改選に移り、選考委員会委員長の高倉胤尚様の報告のとおり、支部長に高野敦夫、副支部長に島義一、渡辺金作、監査に佐藤博、吉田雄二の各氏を選出しました。新支部長から幹事に井上恭一、伏見康弘の両氏が指名され、今年度の新体制ができました。支部組織については別表を掲載いたします。今年度は六月十四日に県

大会郡山大会が事業計画どおりに開かれ、相馬支部から新地地区の吉田雄二様が体験発表をしました。次期開催は県北ブロック・安達支部です。

御礼

県の評議会において、県本部よりトルコ大地震義援金の取り組みについて依頼がありました。相馬支部では、大変申し訳ありませんでしたが各地区会長さんにお願いをし、各地区の実情に応じて取り組んでいただきました。総額69000円を郡山大会の折及び後日振込にて県事務局へお届けしました。ご協力ありがとうございました。

お待ちしております。

新入会員紹介

一氏 名(最終勤務校) 言



島 和宏 (新地小)

四月より再任用として飯豊小にお世話になっております。

飯豊小は三度目の勤務となり、保護者に教え子が多く、懐かしさを感じる毎日です。立派に成長している姿をみるのができたのは何よりもうれしいです。

落ち着いた生活を子どもたちにさせようと、先生方と一緒にがんばっているところ。ご指導よろしくお願いたします。



渡邊 義人 (中村一小)

四月より、相馬市教育委員会で勤務しております。先日、生まれて初めて、超過勤務手当をいただきました。三十七年間は時間を気にせず、遅くまで勤務していま

したが、現在は、勤務時間を意識して働いています。今後、勤務時間と心身を自己マネジメントしながら、相馬市の子どものために頑張っていきたいと考えています。



伏見伸一郎 (原町二小)

定年退職後は学校を応援する仕事に就きたいと考え、日本教育公務員弘済会福島支部に籍を置き、各校への助成金交付等を行っています。校長先生から「助成金が教育課題解決に役立つ」という話を聞く度に達成感・充実感を覚え、幸せな仕事だと感じています。今後は、他にもっと具体的な活動を通して学校や先生方を応援していきたいと考えています。



松本 一宏 (中村一中)

四月より、九年振りに新地町教育委員会に勤務しております。ICTや食育がアップグレードされ、学校

祝 おめでとうございます ございます



令和5年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)表彰
文部科学大臣賞
佐藤 史生
NPO法人「こども文庫にじ」理事

相馬の街中図書館

佐藤 史生

四月二十三日、国立オリピック記念青少年総合センターで「子どもの読書活動実践優秀者」として文科大臣表彰を受けました。

あの大震災後、画家蟹江杏子(学生時代の友人の娘)から「被災した相馬の子らに絵本と画材を」の呼びかけに端を發しました。寄せられた数多くの本には、「3・11」という蔵書印。

五月に相馬に搬入、一時教育会館(下へ)十月二十九日、現在地にて「こども文庫にじ」を開設。十年経ちました。この間、鈴木則久さん、安良紀男教育長(当時)多くの会員の力をいただいています。

都道府県又は都道府県教育委員会の推薦

東日本大震災により市立図書館や学校図書館が被災し業務を果たせない中、被災地の子どもたちに夢と希望を与えるために、相馬市内の避難所で読み聞かせやお絵かき教室などの活動を行った。

平成二十九年九月には、国内外から寄贈を受けた約15000冊の絵本や児童書をもとに、子どもたちが本に親しむことができる町の小さな文庫として「3・11こども文庫にじ」(NPO法人3・11こども文庫福島事務所)を設立した。以来、子どもたちに絵本や児童書の貸出をはじめ絵本の読み聞かせ等のイベント「絵本のつどい」等を開催することで、読書の楽しさと読書習慣づくりに向けた取組を実施している。また、この施設を利用する子どもたちとその保護者たちにとって、心地よい居場所、交流の場とするために、施設管理及び運営に長く携わるとともに、地域の読書活動推進に尽力している。

市内各小学校において、「こども文庫」を配置し、絵本や児童書を貸し出し活動を実施する。教育委員会をはじめ学校現場への積極的な働きかけにより、地域と学校の連携も図ってきた。

平成二十四年十一月より相馬市図書館協議会委員として図書館運営にも携わっている。以上の実績から、優秀個人として推薦する。

活動体制・内容

- NPO法人
- 3・11こども文庫にじ 福島事務所
- ・開館日
毎週火・木・日曜日
- ・開館時間：十時～十七時
- ・運営スタッフ：七名
- ・絵本や児童書の貸出
- ・絵本のつどい：読み聞かせを通して高学年の子どもたちが「読み手」として運営に参画(ジュニアリーダー育成等)
- ・教育委員会はじめ学校現場への積極的な働きかけにより全小学校に1学年から3学年及び支援学級の各教室を対象に、「こども文庫」の配置と巡回

絵本を軸に「親子へ心地よい場所、交流の場」をめざし今年度もスタートしました。三年ぶりの「絵本のつどい」全小学校低学年への「こども文庫」「ワークショップ」と。

館長は、佐藤由弘さんと交替します。是非お立ち寄り下さい。相馬市図書館、相双教育事務所の労に感謝しております。

の中に、しっかりと活かされておりました。取り扱うメールの量は体感的に二倍というところでしょうか。他県では、県教委が学校に送付する文書を半分減らす取組を始め、既に成果が出ているとのこと。創意工夫ある取組のためにも、必要なことと思っています。



星 健一 (中村二中)

四月より、縁あって双葉町教育委員会で勤務させていただきます。

双葉町の学校は、大震災及び原子力災害から十二年が経過した現在も、いわき市の仮設校舎で教育活動を行っています。このたび、学校設置検討委員会が開催され、今後新たに学校を設置する準備に入っています。微力ではありますが、その力になれるよう尽力したいと考えています。



佐藤 由弘 (学び舎ゆめの森)

お世話になった先輩の校

長先生がご退職していかれる姿を見ていて、ここ数年、寂しい思いをしております。退職を迎える順番となり、こんな日が来るのをイメージできなかったのが、今、現実となつていいるのが、不思議に感じています。退職校長会で再び先輩の皆様からご指導いただくのを楽しみにしております。よろしくお願ひします。



金田洋一郎 (小高産業技術高)

四月一日から三月三十一日に退職した小高産業技術高校で再任用教諭として勤務しています。立場が変わり、周囲の先生達が困惑しているようです。

個人的には十年振りの教壇であり、ICT等の新しい時代の教育に戸惑いを隠せません。しかし、直接生徒達と触れ合いながら授業を行えることに、改めて教員としての喜びを感じています。

旅のすすめ

小島 稔



「生き生きヘルシー」コーナーへの投稿を依頼された小島です。退職して三年目になりました。退職直後から、県中地区の県立高校と看護専門学校に非常勤で勤務する生活が続いています。大きく生活パターンが変わった意識はなく、コロナ禍で一服したとはいえ、感染予防を念頭に健康管理に努めています。さて、私の「生き生きヘルシー」の取組といえ

ヘルシー
— healthy —
～ 執筆2 巡目連載中 ～

「脳を刺激することです。脳を刺激する効果が高いのは旅行だそうです。現職中は、長期休業中に一泊二日程度の小旅行に出かけていました。令和元年十二月に青根温泉を訪れてのち、コロナ感染拡大の影響から県外に出ることもなく、自粛生活が続いていました。今年の三月中旬に感染対策が緩和されたこともあって、ようやく県外への日帰りドライブから徐々に活動を再開しました。

五月上旬には、郡山市内のデパートの催事で大堀相馬焼の窯元さんとお話しした縁で、その後、白河南湖公園近くの店舗兼工房を訪ねました。南湖公園も久しぶりでしたが、おしゃれなカフェが営業していて、様変わりしていました。六月上旬には、浪江町の「陶芸の杜おぼり」で開催された陶器市にも足を運び、窯元さんに再会しました。また、その足で、かつて勤務した「双葉高校」(といっても私が勤務したのは、いわき市のサテライト校舎で

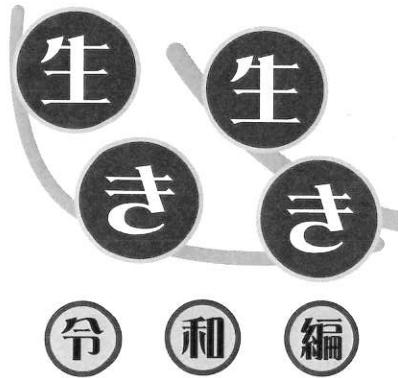
すが)本校舎の外観を確認してきました。双葉高校は休校中ですが、十月八日には「創立百周年記念式典」が開催される予定です。先ほどの窯元さんも双葉高校の卒業生ということで、共通の話題で話が弾みました。旅は、新たな出会いに感激したり、かつての記憶に感慨があつたり、悲喜こもごもの感情が交錯します。六月中旬、家内から「鄙びた温泉街の小旅館」のりくエストがあつたので、山形県の肘折温泉に行ってみました。のんびり温泉につかつたり、朝市で地元の農家の皆さんとおしゃべりしたり、見るもの聞くもの初めての体験で、この旅でも大いに脳が刺激されました。はてはて、次なる旅は、どこへやら……

原町ー松山間

千二百 km

益山 哲雄

震災二年後に精密検査を受けた松山で「悪性リンパ腫」と診断されました。入院した松山赤十字病院では各科の多くの先生方に本当に丁寧に対応して頂き、現在その影響は全く残っていません。「脊柱管狭窄症」「膝関節症」「不整脈」等々の病院がありました。どの病院でもたくさんの方々が親切に関わって下さり、安心して生活できています。現在に感謝しています。現在は「白内障」の手術を勧められていますが、まだ、まだ！と先に伸ばしています。愛媛県に避難した人達による「原発事故訴訟」に加わり(十家族)、一審松山地裁、二審高松高裁は国・東電双方の事故責任を認めましたが、最高裁は国の責任を認めませんでした。それでも最高裁の一人の判事がしっかりと国の責任を認めたことが何よりの救いです。五、六年もの長い間、裁判をリードしてくれた弁護士さんや「裁判を支える会」を結成し、絶えず励まし、応援し続けてくれた松山の多くの方々には本当に頭が下がります。六十才を過ぎてからゴルフを始めた妻千賀子とのゴルフ行脚も全国百カ所を超え、行く先々での多くの方々との触れ合いからやる気、そして生きがいを感じています。コロナ禍でも、週一回の練習及びゴルフを楽しんでおり、一緒にプレーすることの多い八十才以上の方々から健康維持の仕方や生活のリズム等について多くのことを学んでいます。有難いと思っています。千二百 km離れた原町から毎月葉書で届く「花便り」が季節の移り変わりを教えてくれると共に心を温かくしてくれそうです。原発事故前、公園で近所の方々とは毎朝ラジオ体操をしていたことを思い起こしながら、ラジオ体操をしています。常に健康を支えてくれる千賀子の気配りに感謝しながら、今後とも元気に生活していきたいと思っています。



ストレッチング

加藤 潤一



次々と友を喪う年代にあつて、無傷ではいられず、過日の検診で緑内障の疑いの指摘を必然と受け止め、点眼治療に入った処ですが、「努力すれば何とかなると信じている」を旨としており、近所の苗木屋さんにお願ひし、目薬の苗木を五本植えました。七六になり、月一七日のお勤めの合間を縫うように、田圃と畑があるものですから、約一ヘクタールで米を作り、

同じく一ヘクタールの畑では六反分で青豆を栽培し、二反分でウコンを作っています。田圃耕作は赤字ですが、親戚の「お米が一番有り難いです」を励みに動んでいます。ガン予防の秘薬といわれるウコンは近所の方々へお分けしています。

三七から腹筋を、六〇からストレッチに親しんでいます。腹筋とストレッチ、毎日一時間行っています。股関節に弱点があり、西多賀病院で「七〇過ぎたら置換手術になりそうです」を受け、同時に「ストレッチで遅らせる可能性もあります」に依ります。

答えは登山にあります。愛犬「ロック」を連れて殆ど毎土曜出掛けています。飯豊山の前衛に二王子岳の時は、深夜〇時に出ます。熊が出没するので、ザックにはナタを忍ばせ、ポケットにはスプレーです。土曜は登山者が多く、心強いからです。



野菜作りに思う

佐々木 健二



退職から大分過ぎて、少し自分の時間がとれるようになりしました。周囲を見ると野菜作りを楽しんでいる人がいます。そんな周囲の人に刺激を受けて野菜作りをと思ふようになりまし

た。数年前から弟の畑を借りて野菜を作ろうと思ひました。農作業は初めて、昔親がしていた作業を思い出して、畑を耕すことから始めました。次に胡瓜、白菜、トマトなどの苗を植えて水をやるという単純な考えで始めました。しかし、現実には甘くなくすぐに害虫が葉につき、大きな穴をあけられ、病気で葉が枯れるなど散々の出来でした。

二年目からは、友人や知人から野菜作りのノウハウを聞いて作業を始めました。その中で次の言葉が今でも強く心に残っています。

○毎日野菜の様子をよく観察すること。色々わかる。
○野菜は「手間とひま」をかけるとその分だけ返してくれる、というアドバイスです。しかし最初はこのような努力をしても中々上手に成長してくれません。野菜作りも奥が深いです。やがて新鮮な野菜が少しでも収穫できた時は何とも言えない喜びがあります。野菜作りも振り返ってみると親子の健やかな成長を願つての子育てに似ていると思ひました。

これからも野菜のそれぞれの特性に合う作り方をみつけ、楽しみながら野菜を作りたいと思っています。

道路側花壇の世話

本田 進



二十数年前に近くの道路が延長され、側に花壇も作られた。しかし、そこは草地として放置されていた。

その一角に当時の区長の許可を得て、家で残った花苗を植えていた。定番のマリーゴールドやサルビア、パンジー、葉牡丹等の気の向くまま苗を植え世話をしていた。震災時には、ひまわりを植えたこともあった。七、八年前ほど前、地区の老人会が、活動の一環として花壇の世話をする旨話があったので快諾した。地区内の数か所に花が植えられ、世話されていた。

ところが、三年前に老人会が、花壇の世話は負担が大きいのので、今後は世話をしないとの話があった。花壇は、すぐに草美化した。昨年、南相馬市で、「緑豊かな景観事業」として、地区団体に花苗を配り、植栽作業を推進していることを知った。そこで、早速申込みをしたら、花苗を頂けることになった。

地区のみなさんの協力をいただき、六月にベコニア、十月にパンジーと二年一回、地区内数か所の花壇に植えている。水やり、草取り等世話は何かと大変であるが、花が植えられていることは、地区民には好評のようである。

クラブ活動

ゴルフクラブ

佐藤 宗信

前号の会報で、「GMC」は何の略語かとお尋ねしたところ、早速先輩から「グランド・マスター・クラブ」の略と連絡があり、了解しました。本当に有難うございました。

さて、令和四年度の行事も無事終了しました。

九月は台風、十二月は積雪のために中止。例会として十回開催し、皆勤者は六名でした。これも健康のお陰と会員共々感謝しているところです。

令和五年度に入り、期待していた新入会員はいまませんでしたが、四月、五月と予定通り例会を実施しております。

園芸(庭木)クラブ

渡部 長男

野菜栽培にはかかせない大型のハウス栽培について

て、今年は研修したいと思っています。

ハウス栽培は、早く成長し、早く食卓にのりますので、野菜を味わうには最高です。

また苗の育て方、肥料の施し方、病気の予防や対策等々についても学習したいと思っています。

特に水のやり方については、いつやったらよいのか、量はどのくらいなのか等についてでもいいしよに学習できればと思っています。

またトンネル栽培についても研修できればと思っています。

俳句クラブ

江井 芳朗

コロナ禍も収まる気配なので、会員相互の親睦を兼ねた句の研修会が開催できそうです。

唯一の研修の機会でもある県内の俳句大会「芸術祭俳句大会」は、十月八日(日)

会津若松市の会津風雅堂で開催されます。

さらに地元の相双俳句大会は、十月末に開催予定です。大いに参加投句し、深められたらと思います。

また各人、結社内でも活躍のことと思います。俳句は、自然に親しみ、自然を大事にし、人間性を育む大きなメリットがあります。それを念頭に今年度も会員相互の研修に励みたいものです。

囲碁クラブ

大谷 一裕

年間の活動は、次の通りです。

- 親睦囲碁のつどい
- 十月頃に開催予定(平日の午後一時から午後三時頃まで)
- 場所(未定)

● 部員と囲碁に関心のある方に、後日連絡致します。
● 昨年は、当日参加くださる方がいなくて、実施できませんでした。

今年、参加可能な日をお伺いしながら開催できるようにしたいと考え

ています。

● 囲碁が初めてという方も大歓迎ですので、皆さんお気軽にご参加ください。

パークゴルフクラブ

浜名 俊明

今年度の主な活動は、次のようなものです。

- パークゴルフを楽しむ会
- 毎週火・木曜日の午後
- 東武PG場(川子)にて
- ※初めての方、初心者などどなたでも参加可能です。
- ○ 親善パークゴルフ大会
- 十一月二日(木)
- 東武PG場に於いて
- 十二時三十分受付開始
- 四コース、三十六ホール

※多くの方の参加をお願いします。賞品を多数用意します。

今年度は、二十五名が所属し、各自が目的(体力保持・技能向上・肥満防止など)を持って頑張ってくださいと思います。

今年度は、二十五名が所属し、各自が目的(体力保持・技能向上・肥満防止など)を持って頑張ってくださいと思います。

釣りクラブ

杉浦 伸吉

会員は十四名です。今年

は新メンバーも加わり新鮮な感じ。釣りの盛り上がりは、天気(自然とのふれあい)と釣果、それに仲間との交流です。

六月相馬港、七月松島港、九月小名浜港、十月石巻港、十一月は一泊二日檜原湖でワカサギ釣りの予定です。会員の参加をお願いします。

今年度は多方面から釣り情報を取得し、日程・釣り場を考慮して実施したいです。海の環境は、温暖化の影響で、釣れる時期や魚の種類が変わり、今まで通りとはいかないのが現状です。

将棋クラブ

菊地 義広

会の運営を引き継ぐことになりましたが、総会で説明しましたように、会員の高齢化など諸事情により、今年度は休部することになりました。ご理解いただき

園芸(盆栽・山野草)クラブ、保健クラブ、書道クラブ、短歌クラブ・旅行クラブは休部中です。

東 西 南 北

新地地区

本年度総会は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変更される前ということもあり、昨年同様、資料の配布をもってこれに代えたところです。

総会の開催見合わせが続いていますが、この間に新会員の加入は一人も無く、本年度は七名でのスタートとなりました。今後もこうした状況が続くのではないかと思っています。地区会としても、今後の在り方を検討しているところです。

本年度は是非、現職校長会との懇談会を開催できればと思っています。

(吉田 雄二)

相馬地区

本年度の総会を新会員八名を迎え、四月八日九時から相馬市教育研究実践センターで、二十三名の会員の参加のもと開催しました。総会後の懇親会につきましまして、未だ新型コロナウイルス

ルス感染症の終息が見通せないため、やむなく中止と致しました。

議事では、石川一夫氏が議長を務め、太田孝泰新会長、堀川幸一新副会長の新体制のもと、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、現職校長会との合同研修会「重陽会」や「紅葉狩り」の実施について検討していくこととなりました。

(吉内 次夫)

南相馬市鹿島区

ようやくコロナの影響が治まりつつある今年度ですが、あまり欲張らず、できることを実施しようということになりました。

一、区内新旧校長会(実施未定)

二、パークゴルフを楽しむ会(希望者で)

三、夏季研修旅行(実施しない)

四、忘年会(十二月上旬頃に、原釜又は松川浦あたりで、日帰りで実施予定。)

会員全員が、無事、健康で過ごせることが、今年度の願いです。

(大谷 一裕)

南相馬市原町区

今年度も総会に代わり、議案を書面表決で決議し、草野正徳新会長の下、今年度の活動をスタートさせていきます。

慶事では、金婚で廣瀬要人氏、鈴木進一氏、大石力弥氏が該当されました。心よりお祝いを申し上げます。

この後、九月に役員会、秋の紅葉狩り研修会、懇親会が計画されており、コロナ禍で実施できなかった事業が盛大に実施できればと準備しているところです。

(山邊 彰一)

南相馬市小高区

昨年度は、コロナ禍のため研修会などは実施できませんでしたが、「黒松会だより」第17号を発行することができました。

今年度は、五月十三日に二十名の会員の中、十名の参加で総会を行いました。佐藤雅夫氏を新会長として

新役員の決定後、それぞれの近況報告を行いました。今年度の活動計画としては、小高小・中学校の訪問による研修会の実施と昨年に続き会員全員の前稿をもとに「黒松会だより」18号の発行を計画しています。

(金谷 哲)

ご冥福をお祈り申し上げます

故 今野 武先生(91歳)
令和5年2月13日逝去

昭和29年東北大学卒。同年入遠野中学校を振り出しに、駒ヶ嶺中、中村第一中、上真野中、向陽中に勤務。昭和57年川内中教頭に昇任。相馬市立養護学校を経て、昭和63年川内中学校長に昇任。平成4年飯豊小を最後に定年退職。

故 後藤 桂一先生(89歳)
令和5年3月5日逝去

昭和30年東北大学卒。同年飯曾村立飯曾第一小学校を振り出しに、日立木小、中村一小、葛尾小に勤務。昭和49年福田小教頭に昇任。大野小、新地小を経て、昭和62年小高町立福浦小学校に昇任。平成7年新地町立新地小を最後に定年退職。

故 渡部 武先生(87歳)
令和5年3月17日逝去

昭和33年福島大学卒。同年矢祭町立東館小学校を振り出しに、小高町や原町市の中学校教諭を経て、昭和56年いわき市立平三小教頭に昇任。山上小教頭、浪江町派遣社教を経て、昭和63年葛尾中学校長に昇任。相双事務所社教主事、石神一小を経て、平成8年原町三小を最後に退職。

故 西楨 泰昌先生(79歳)
令和5年4月12日逝去

昭和42年福島大学卒。同年古殿町立宮本中学校を振り出しに、伊南村や相馬市、原町市の中学校教諭を経て、平成2年郡山市立海老根小教頭に昇任。中村一中教頭を経て、平成6年葛尾中学校長に昇任。石神中を経て、平成16年原町三中を最後に退職。

故 佐藤 光良先生(90歳)
令和5年7月2日逝去

昭和30年福島大学卒。同年上真野小学校を振り出しに、草野小、真野小、大甕小、熊町小、原町一小に勤務。昭和57年玉野小教頭に昇任。金房小を経て、平成2年磯部小学校長に昇任。平成6年大甕小を最後に定年退職。

文芸

俳句

草野 博夫

春の庭老い病いの癒さるる

薯肥さむ馬鈴薯の摘花せり

初鱉薬味にんにく酒すすむ

自家搾る玉葱ジュース芳しき

葉を挿してトマト増やせる

テクニツク

荒川 馬九

野馬追のテレビ放映が楽し

車・自転車・杖も危険と

八十九

日永とてなつメロ唄ふ慰め

春めきて軍備拡張とは寂し

新緑や世界平和すすめたし

金谷 哲

木や草に紛れ声高初音かな

山脈を背負ひふる里養花天

新緑に赤き鳥居の沈みゆく

葱坊主無常の笑みの地藏哉

緋目高の水一リツトルの
世界哉

江井 芳朗

芽出づる亡き妻育む福寿草

冬夕焼乾涙を持って立尽くす

あれやこれ妻の献身背ナ寒し

コロナ禍のため(病院にて)

臨終の妻に添へずに永別す

拳り出づ土筆の背丈皆違ふ

川柳

山野辺 久

いい風が来たぜ一服気を
入れる

生き延びてイノチ温める
コップ酒

聞き上手話し上手で恙無い

頂きたいのち笑顔忘れまい

こだわりの捨ててニンゲン
つないでる

前山 利栄

早いなあ煙草と別れ
もう五年

水戸黄門を肴に今日も
爛進む

おはようが昨夜の喧嘩
忘れさせ

「北国の春」が止まない
露天風呂

平和ですカブトをかぶり
につこりと

安良 紀男

当たりくじが思わぬ風を
つれてくる

吉報へへそくりまでも
駆り出され

スマホあれば長蛇の列も
苦にならず

解熱剤飲ませたいよな
熱帯夜

身丈で生きる楽しさ
むずかしさ

余力ある思える時に
引く勇気

触診後間髪入れず
医者に聴く

夫婦間アクリル板が
丁度良い

若者よ失敗織り込み
まず始動

枯れ木立つ仰ぎ見ながら
我映す

写真、四天王の増長天
に従う八代將軍の一人の韋
駄天像です。兜や鎧を身に
つけ腕上に宝棒を乗せた姿
を彫りました。軍神に見え
るでしょうか。

彫刻

韋駄天像

伊達 孝行



編集後記

時代の大きな転換点なので
でしょうか。かつて学校で
は普通だったことにも、変
化や改革が求められてきて
います。働き方、部活動、
PTA活動等々。
そのような中であって、
本会報は「不易流行」。こ
れまで諸先輩方が積み重ね
てこられた伝統を大切にし
ながら、新しいものも取り
入れていきたい。

今年度は、本会の役員改
選の年。会報編集委員も半
数以上が入れ替わり、アド
バイスをいただきながら手
探りの編集作業です。新メ
ンバーで至らないところも
多いと思います。会員各位、
特に寄稿いただいた皆さま
には寛恕願います。今年度
お世話になります。

編集委員

- 但野 良子(新地)
- 伊藤 浩樹(相馬)
- 鎌田 由人(鹿島)
- ◎杉内 律子(原町)
- 寺岡 弘之(小高)